

ほけんだより 新型コロナウイルス感染症について

令和2年7月31日 津島市立南小学校

◎新型コロナウイルス感染症の典型的な症状

新型コロナウイルス感染症の初期症状は、風邪やインフルエンザに似ています。風邪は、微熱を含む発熱、鼻水、鼻づまり、のどの痛み、咳などの症状が見られることが多くあります。また、インフルエンザは、風邪に比べると高熱が出る事が多く、頭痛や全身の関節痛・筋肉痛を伴うことがあります。新型コロナウイルスを風邪やインフルエンザの症状と比べると、右の図のようになります。

新型コロナウイルスでは典型的には

- | | | | |
|------|----|------|-------|
| ・発熱 | ・咳 | ・だるさ | ・食欲低下 |
| ・息切れ | ・痰 | ・筋肉痛 | |

などの症状の頻度が高いとされます。

発熱、咳などの症状に加えて嗅覚異常・味覚異常の症状があれば、新型コロナウイルス感染症の可能性は高くなるでしょう。

また、嗅覚異常・味覚障害のみの症状の方もいらっしゃるようです。「新型コロナ患者との接触歴がある」「特定のクラスターに曝露している」を満たす方は、新型コロナ検査の対象になる可能性がありますので、かかりつけ医や帰国者・接触者相談センターに相談しましょう。（参考：国際感染症センター 感染症専門医記事）

症状	新型コロナ 軽症～重症まで 幅広い 季節性は不明	かぜ 緩徐に発症 年中みられる だから続く	インフルエンザ 突然の発症 冬に多い 通常5～7日で軽快
発熱 	平熱～高熱	平熱～微熱	高熱
咳 	◎	◎	◎
咽頭痛 	○	◎	◎
息切れ 	○	×	×
だるさ 	○	○	◎
関節痛 筋肉痛 	○	×	◎
頭痛 	○	◎	◎
鼻水 	△	◎	○
下痢 	△	×	○ 特に小児で多い
くしゃみ 	×	◎	×

新型コロナウイルスと風邪、インフルエンザとの症状の比較（オーストラリア政府保健資料より）◎：頻度高い、○：よくある、△：ときどきある、×：稀

「新しい生活様式」 一人一人の感染対策

（引用：厚生労働省ホームページ）

3つの基本 ①身体的距離の確保（ソーシャルディスタンス） ②マスク着用 ③手洗い

□人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。

□遊びに行くなら屋内より屋外を選ぶ。

□会話する際は、可能な限り真正面を避ける。

□外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用。

□家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。

□手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）

※高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

学校では、児童が安心して登校できるよう、引き続き次のことを行っていきます。

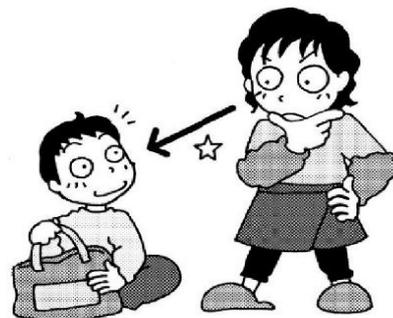
- ① 家庭で：検温・健康観察（様子を聞いてください。）ご家族が体調不良（咳や息苦しさなど）や発熱がある場合も、登校せずおうちで様子を見てください。
- ② 登下校中：傘さし登下校（ソーシャルディスタンスを保ち、マスクを外す）
- ③ 登校後：教室に荷物を置いたらすぐに手洗い。検温未実施児童の検温。
- ④ 朝の会：児童が持参した健康観察表チェック及び教員による健康観察。
- ⑤ 授業中：机の間隔をあけて配置。マスクの着用。教室の天窗4方向開放。
- ⑥ 給食：手洗いの励行。机の消毒。南北東西向き（前向き）給食。会話は控える。
- ⑦ 帰りの会：教員による健康観察。
- ⑧ 放課後：教員によるドアやトイレなど多くの児童が触れる場所の消毒、トイレ清掃



☆引き続きお子さんの体調チェックをていねいをお願いします

こんな症状はありませんか？毎朝、欠かさずチェック！

- | | |
|--------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 鼻水がでる | <input type="checkbox"/> 頭が痛い |
| <input type="checkbox"/> のどが痛い | <input type="checkbox"/> おなかが痛い |
| <input type="checkbox"/> 咳がでる | <input type="checkbox"/> 食欲がない |
| <input type="checkbox"/> 体がだるい | <input type="checkbox"/> 寒気がする |



症状があるときは、体温を測定してみましょう。

体調が悪いときには、登校や外出をひかえ、ゆっくり休ませてください。

もしかして・・・病院を受診する前に

(引用：厚生労働省ホームページ)

【相談対象者】 次のいずれかに該当する方は、すぐに帰国者・接触者相談センターにご相談ください。
(これらに該当しない場合の相談も可能です。)

なお、この相談の目安は、県民の皆様が相談する目安です。これまで通り、検査については医師が個別に判断します。

- (1) 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- (2) 重症化しやすい方（高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患等の基礎疾患がある方や透析を受けている方）で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
- (3) 上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合

(症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。病状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。)

<お子様をお持ちの方へ>

小児については、小児科医による診察が望ましく、帰国者・接触者相談センターやかかりつけ小児医療機関に電話などで御相談ください。

※センターでご相談の結果、新型コロナウイルス感染の疑いのある場合には、専門の「帰国者・接触者外来」をご紹介します。マスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて受診してください。

開設時間 平日：午前9時から午後5時まで

夜間・土、日、祝日：オンコール（24時間）体制

津島保健所 0567-24-6999

児童や家族・近親者に感染があった場合は、必ず学校にお伝えください。0567-26-3348